

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 2 月 19 日

計画の名称	藤井寺市における水環境整備事業																
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)					交付対象	藤井寺市										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標(定量的指標)	①行政人口66,698人(平成23年度末)の下水道処理人口普及率を71%(H22当初)から76%(H26末)に増加させる。 ②下水道認可区域面積434.76ha(平成23年度末)の10年確率降雨に対する浸水解消率を10.2%(H22当初)から10.3%(H26末)に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考					
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)		最終目標値 (H26末)				
① 下水道処理人口普及率 下水道処理人口/区域内人口/行政人口										71%	74%	76%					
② 10年確率降雨に対する浸水解消率 浸水解消面積/下水道法認可区域面積										10.2%	10.2%	10.2%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	2283百万円 2075百万円	A	1827百万円 1908百万円	B	0百万円	C	456百万円 167百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)		8.0%						
事後評価(中間評価)																	
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期										
市内部評価							平成28年2月										
							公表の方法										
							ホームページにて掲載										
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	汚水	新設	大井処理区汚水管渠	汚水管渠φ200～350 L=9,719m	藤井寺市						1,522	
1-A1-2	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	雨水	新設	西水路雨水幹線	雨水管渠2200×2500 L=83m	藤井寺市						159	
1-A1-3	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	雨水	新設	京樋雨水幹線	雨水管渠2200×2200～2200×2100 L=133m	藤井寺市						227	
											合計					1,908	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	新設	大井処理区汚水管渠	汚水管渠φ200 652m	藤井寺市							152.8	
1-C-2	施設整備	一般	藤井寺市	間接	個人	接続助成	水洗便所改造補助事業(市内一円)	水洗便所改造補助	藤井寺市							4.4	
1-C-3	下水道	一般	藤井寺市	直接	—	内水ハザードマップ	内水ハザードマップ作成(市内一円)	内水ハザードマップ作成	藤井寺市							9.8	
											合計					167.0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考			
1-C-1	基幹事業（1-A1-1）と接続する污水管渠（枝線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進をはかる。				
1-C-2	水洗化便所改造時に助成金を補助することにより、公共下水道の接続率の向上をはかる。				
1-C-3	基幹事業(1-A1-2、1-A1-3)で整備する雨水管渠の整備に併せて、ソフト対策として、市民の自助・共助を促し、浸水被害の軽減を図る。				
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・污水管渠の整備によって、下水道処理人口普及率が71%（平成22年度当初）から77%（平成26年度末）に増加させたことで、目標（76%）を若干上回った。 ・雨水管渠の整備によって、10年確率降雨に対する浸水解消率が10.2%（平成22年度当初）から10.2%（平成26年度末）と予定より若干下回った。 <p>これらの事業を行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与することができた。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	76%	目標値と実績値に差が出た要因	概ね目標値を達成した。
		最終実績値	77%		
	指標②（10年確率降雨に対する浸水解消率）	最終目標値	10.3%	目標値と実績値に差が出た要因	予定していた工事が遅延したため。
		最終実績値	10.2%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
污水管渠および雨水幹線の整備を引き続き行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。					

(参考図面)

